

2021年9月17日

ベトナムでのコロナワクチン接種；史上最大の接種作戦を展開

ベトナムは新型コロナウイルスの感染対策に成功した国と評価されてきましたが、第4波による感染増加やワクチン調達の遅れなどで、一部の外国メディアでは批判的な声も聞かれます。しかし実際には、ワクチン調達に関しベトナム政府はしたたかな外交やメーカーとの交渉を繰り返して、また同時並行して安全性を重視した上でワクチンの国産化の準備を着々と進めています。外務省によると、8月末までに計3,300万回分のワクチンがベトナムに到着しています。9月と10月には、3,000万回分以上のワクチンを、そして2021年末までに約9,000万回分（共同購入と分配の国際的枠組みであるCOVAXファシリティ分を除く）を確保する見通しです。ベトナム政府は、2021年末～2022年初めにかけて人口の70%がワクチン接種を完了することを目標としています。

ベトナムのコロナ感染者数（2021年9月13日時点）

感染者数	治療中の人数	完治者数	死亡者数
613,375	223,518	374,578	15,279

出所：ベトナム保健省

ベトナムのワクチン接種者数（2021年9月12日時点）

	人数	18歳以上の人口比 (6,900万人)
1回接種済み人数	23,157,067	33.6%
2回接種済み人数	5,056,325	7.3%

出所：ベトナム保健省

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

2021年9月6日の定例政府会議で、ファム・ミン・チン首相は新型コロナウイルスの感染対策に成功することが経済回復の決定的な要因であると述べました。企業のサプライチェーンを維持し生産活動を回復させるために、ワクチンの調達および接種が政府の最優先事項とされているのです。



7月10日、ベトナムは全国的な新型コロナウイルスワクチン接種作戦を開始

保健省と国防省は、7月10日に全国で18歳以上を対象とするコロナワクチン接種作戦を開始しましたが、保健省はベトナム人民軍と協力し全国に1万5,000か所の接種会場を設置しています。合計1億5,000万回分のワクチンを配布し、2021年末～2022年初頭を目途に全人口の70%が接種を完了し集団免疫を獲得することを目指しています。

ベトナムでは、第4波の市中感染が最も深刻な大都市とその周辺地域へワクチンを優先的に配分する計画です。最大都市ホーチミン市と南部の一部の省・市（ビンズオン省、ドンナイ省、ロンアン省）で1,500万回分の接種を手配していて、全国のワクチン総数の45%を占めています。首都ハノイでも、保健省が431万回以上のワクチンを手配し総数の15%を占めていま

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

す。保健省は、9月15日までにハノイ市、ホーチミン市、東南部地方ビンズオン省、同ドンナイ省、南部メコンデルタ地方ロンアン省の5省・市に対し、住民に1回目の接種を完了させるよう要請しています。



ベトナムでのワクチン接種の様子

ホーチミン市のワクチン接種状況【少なくとも一回の接種率は93.9%；9月13日現在】

大都市ホーチミン市は接種の優先地域で、18歳以上の全人口が接種対象で、8つの地区（1区、5区、6区、7区、11区、フーニャン区、クチ県およびカンゾ県）が最重点地区です。

9月7日、ホーチミン市人民委員会(市役所)は一部の営業・販売を許可する内容の文書を交付し即日発効しました。同文書によると、飲食店のテイクアウト・デリバリーでの販売や情報技術機器、学用品などを取り扱う店舗に対しても、宅配形式での販売を許可するとしています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



ホーチミン市は9月7日から飲食店のテイクアウト販売を許可

そして、ホーチミン市の人民委員会によると、同市は「ワクチングリーンパス」のスキームを検討していて、9月15日以降に事業とサービスの再開が可能になる見込みです。同市人民委員会のファン・ヴァン・マイ委員長は、安全対策が確保された場合に限り、事務所での営業、サービス業務、輸送などの経済活動を再開できるとしています。

ホーチミン市の年内のワクチン接種計画：2021年8月29日～12月31日まで合計8,145,900回分接種

同市はワクチン接種作業を4つの段階に分け、年内に18歳以上の人口に対して2回接種を完了する目標しています。



1回目の接種から2回目の接種までの間隔はワクチン種類によって3-12週間かかる。

4つの段階の接種回分は1回分1,400,000回、2回分6,745,900回分で合計8,145,900回分である。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ハノイ市のワクチン接種状況【少なくとも一回の接種率は 83.9% ; 9月13日現在】

首都ハノイ市の感染状況はホーチミン市ほどではないですが、優先地域として接種が急ピッチで推進されています。同市では9月6日から21日の期間に、市内各地域を感染状況などに応じて3つの区域に分け、それぞれ異なる社会隔離措置を実施することを決定しています。同市は住民へのワクチン接種を加速していて、前例のない接種ペースに達しています。ハノイ保健セクターによると、9月12日には一日の接種人数が約57.4万人となりこれまでの一日あたりのワクチン接種回数の記録を更新しました。ハノイ市ではすでに対象人口の約9割が少なくとも一回の接種を完了済みで、同市の人民委員会は9月下旬までに18歳以上の全人口が接種することを予定しています。ハノイは9月21日以降経済活動の再開する計画を策定しています。



ハノイの人々は日没後でもコロナワクチンを接種

【写真提供：政府の電子新聞、保健省、CPVN】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。